

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/30		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587045902	科目番号 / Subject code	05870459
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 14311_005		
授業科目名 / Subject	社会と文化の多様性 (世界の中のヨーロッパ、アジア、アフリカ) / European, Asian and African Regional Studies		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	葉柳 和則 / Hayanagi Kazunori, 滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa, 小松 悟 / Satoru Komatsu, 増田 研 / Masuda Ken, 見原 礼子 / Reiko Mihara		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	葉柳 和則 / Hayanagi Kazunori		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	葉柳 和則 / Hayanagi Kazunori, 小松 悟 / Satoru Komatsu, 増田 研 / Masuda Ken, 見原 礼子 / Reiko Mihara		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学・歯学・工学・環境		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hayanagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室 / Laboratory	総合教育研究棟12F		
担当教員TEL / Tel	095-819-2932		
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜4校時 (メールにてアポが必要。予定が合えば他の時間も可)		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	全員で具体的な事例を検討する作業を通して、「ヨーロッパ」、「アジア」、「アフリカ」の<社会・文化・人間>を、それぞれの地域に本質的に備わる固定的なアイデンティティ(同一性)としてとらえるのではなく、その環境(Umwelt=取り囲む世界)である域外の<社会・文化・人間>とのグローバルな相互作用の中で、絶えずゆらぎ、変化し続けるものとして理解する。		
授業到達目標 / Goal	ヨーロッパ、アジア、アフリカについての固定的なステレオタイプに対して批判的なまなざしを向け、グローバルな社会と文化の変容の中でこれらの地域について論じることができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	基本は講義形式であるが、授業の展開に即して、グループワークや課題レポート作成を行うことになる。したがって、積極的な参加が必須となる。16回目に筆記試験を課す。		
授業内容 / Class outline / Con	<ol style="list-style-type: none"> 1 イントロダクション: イメージの中の世界地図 (葉柳) 2 ヨーロッパ編(1): グローバル化とEU(1)(見原) 3 ヨーロッパ編(2): グローバル化とEU(2)(見原) 4 ヨーロッパ編(3): 非EUヨーロッパスイス(葉柳) 5 ヨーロッパ編(4): ドイツにおけるトルコ系住民 (葉柳) 6 ヨーロッパ編(5): オランダ・ベルギーにおけるトルコ系移民 (見原) 7 ヨーロッパ編(6): ヨーロッパのイスラームフォビア (見原) 8 アフリカ編(1): アフリカの「世界史」への参入(増田) 9 アフリカ編(2): 人種の社会的構築(増田) 10 アフリカ編(3): アフリカはいつまで貧困か(増田) 11 アフリカ編(4): 社会開発、とくに保健と学校教育(増田) 12 アジア編(1): グローバル化とアジア(小松) 13 アジア編(2): アジアの開発課題(小松) 14 アジア編(3): 持続可能な開発に向けた国際協力の在り方(小松) 15 まとめ: 本質主義を超えて (葉柳) 16 筆記試験 		
キーワード / Key word	多言語・多文化国家、EUのトルコ系住民、グローバル化と地域、経済発展と貧困・格差、本質主義		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	特定の教科書は用いず授業内容に関連した資料を配付する。可能な限りLACSを用いる。		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	各回の課題orレスポンスペーパー (45点)、 筆記試験(55点)		
受講要件 (履修条件) / Requirements	グループワークに参加する意志のある者		
アクセシビリティ / Accessibility	申し出があれば、受講を実現するための配慮を行う。		
備考 (URL) / Remarks(URL)	特になし		
学生へのメッセージ / Message for students	教養教育においては、知識を増やすことも重要ですが、思考の枠組を思い込みやステレオタイプから解き放つことの方がもっと大切です。		

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2016/04/06 ~ 2016/07/26		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587046702	科目番号 / Subject code	05870467
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 14351_005		
授業科目名 / Subject	社会と文化の多様性 (宗教から見た日本) / Religion in Japan		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生 (クラス等) / Object Student	医学部・歯学部・工学部・環境科学部		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	takizawa@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Laboratory	多文化1号館2F		
担当教員TEL/Tel	095-819-2916		
担当教員オフィスアワー/Office hours	随時 (要事前連絡)		
授業の概要及び位置づけ/Course Outline and Objectives	日本の宗教文化は、その風土を反映し多様性と混合性に富む。この授業では、仏教やキリスト教といったいわゆる「組織宗教」ではなく、神社の祭りや儀礼、民間信仰といった多様な信仰のかたちをとりあげ、「日本文化」と呼ばれるものを相対化しつつ日本社会の特質に迫る。		
授業到達目標/Goal	(1) 祭りや儀礼、民間信仰に関する宗教研究の基本的な概念について説明できるようになる。 (2) 身近な社会現象を宗教研究の用語、考え方をを用いて説明できるようになる。		
授業方法 (学習指導法) /Method	各回の授業内容に示された特定のテーマを採り上げ講義形式の授業を行う。また、授業の終了時には、講義内容に関するアンケートを実施する。その他、状況に応じて事前の課題講読、授業中の質疑討論を行う。		
授業内容/Class outline/Con	本授業では、日本の宗教文化を主題に、宗教研究の基本的な考え方を学び、それに基づき各回のトピックに合わせた具体的な事例を考察する。 特に、宗教研究の概論では、われわれが漠然と理解している「宗教」や「日本文化」といったものが、歴史的にどのように対象化されてきたのかということを理解し、その上で「宗教」に焦点を当てることで「文化」や「社会」の見え方がどのように変わってくるかを学習する。 各回のトピックにもとづく各論では、生老病死など人間にとって身近な主題を、概論で学んだ宗教研究の視座を通して分析する。それによって、現代日本社会の状況を相対化して捉える視座を養う。		
キーワード/Key word	宗教文化、風土、組織宗教、民間信仰、現代社会		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書は使用しない。参考文献については授業中に適宜指示する。		
成績評価の方法・基準等/Evaluation	授業への積極的参加 (授業ごとのアンケート提出など) 50%、学期末レポート50%		
受講要件 (履修条件) /Requirements			
アクセシビリティ/Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	本授業の受講を通して、身近な問題を見つめなおすきっかけにいただければと思います。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	はじめに		
第2回	宗教とは何か		
第3回	日本人と宗教		
第4回	民間信仰論		
第5回	日本文化起源論		
第6回	生業と自然		
第7回	神話と儀礼		
第8回	霊魂と世界		

第9回	死者との関わり
第10回	病気と身体
第11回	高齢化と宗教
第12回	福祉と宗教
第13回	災害と宗教
第14回	現代社会と宗教
第15回	まとめ
第16回	試験

学期 / Semester	2016年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2016/09/30 ~ 2017/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20160587046902	科目番号 / Subject code	05870469
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMB 14361_005		
授業科目名 / Subject	社会と文化の多様性 (日本のことばと文芸) / Japanese Language and Literature		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中島 貴奈 / Nakajima Takana, 滝澤 克彦 / Katsuhiko Takizawa		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中島 貴奈 / Nakajima Takana		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中島 貴奈 / Nakajima Takana		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Object Student			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	takanan		
担当教員研究室 / Laboratory	教育学部652		
担当教員TEL / Tel	必要があればお知らせします		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業中にお知らせします		
授業の概要及び位置づけ / Course Outline and Objectives	日常生活の中で使用している漢字について学び、漢字の調べ方を知ること。 漢文学(中国文学)が日本文学に与えた影響を具体例を通して知り、両者を比較して鑑賞できるようになること。 漢文を、日常生活にも即した身近な問題と関連づけて読むことができるようになること。 文学作品の鑑賞文を書き、他者に伝えることができるようになること。		
授業到達目標 / Goal	日本の文化・文学などにおける中国からの影響を具体的に説明することができる。 文学作品を読んでさまざまな視点から鑑賞し、鑑賞文を書くことができる。 比較文学の手法を身につけ、作品を鑑賞できる。 漢文を身近な問題と結びつけて読むことができる。		
授業方法 (学習指導法) / Method	毎回簡単な予習が必要。あらかじめ示した課題をもとに毎回資料を配布し、授業時間内の意見交換を通して理解考察を深める。		
授業内容 / Class outline / Con	第1回 はじめに 日本文化・日本らしさとは何か 第2回 漢字と日本 第3回 漢字と日本 第4回 漢字と日本 第5回 漢字と日本 まとめ 第6回 日本文学と中国文学 第7回 日本文学と中国文学 第8回 日本文学と中国文学 第9回 日本文学と中国文学 第10回 日本文学と中国文学 第11回 日本文学と中国文学 第12回 日本文学と中国文学 第13回 漢文の応用力 第14回 長崎と漢詩文 第15回 まとめ		
キーワード / Key word	漢字、漢詩、漢文、日中比較文学、長崎学		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	高島俊男『漢字と日本人』(文春新書) 大島正二『漢字伝来』(岩波新書) 村上哲見『漢詩と日本人』(講談社選書メチエ) 若林力『江戸川柳で楽しむ中国の故事』(大修館書店) 加藤徹『漢文力』(中公新書)その他授業中に紹介します		
成績評価の方法・基準等 / Evaluation	毎回の課題に対する準備内容(30%) 授業時の討議への参加態度・発表内容(40%) 小レポートの内容(30%)		
受講要件(履修条件) / Requirements			
アクセシビリティ / Accessibility	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	日本人学生はもちろん、留学生の受講も歓迎しますが、古典文学を含む多くの文献を読んでもらうこととなります。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 身の回りの漢字・漢文学に関する問題探し
第2回	漢字 中国の漢字と日本の漢字・仮名
第3回	漢字 使える漢字と使えない漢字～新聞の不自然表記はなぜ
第4回	漢字 名前の漢字～名前をつけるなら
第5回	漢字 まとめ
第6回	漢文学 日本文学と漢文学(概説1)
第7回	漢文学 日本文学と漢文学(概説2)
第8回	漢文学 日本文学と漢文学～比較してみよう1
第9回	漢文学 日本文学と漢文学～比較してみよう2
第10回	漢文学 日本文学と漢文学～比較してみよう3
第11回	漢文学 日本文学と漢文学～比較してみよう4
第12回	漢文学 日本文学と漢文学 まとめ
第13回	漢文学 こんなとき、漢文ではどう考えるか 1
第14回	漢文学 こんなとき、漢文ではどう考えるか 2
第15回	漢文学 長崎と漢文学
第16回	予備